

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

和歌山県 紀の川市

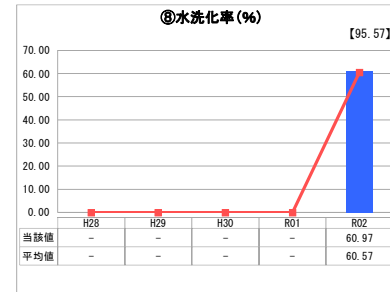
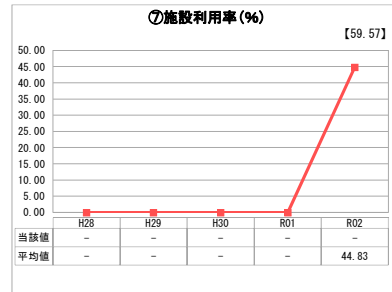
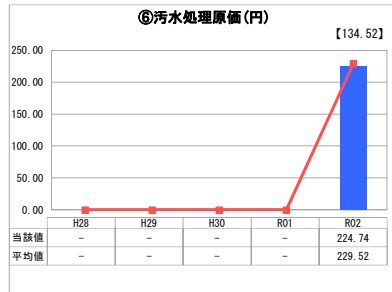
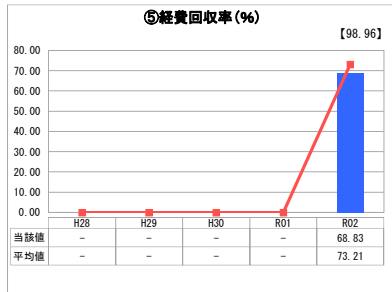
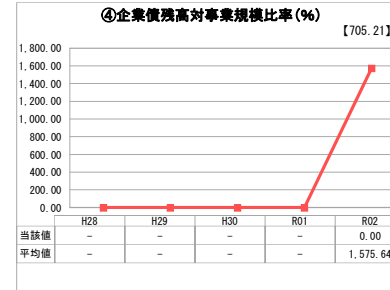
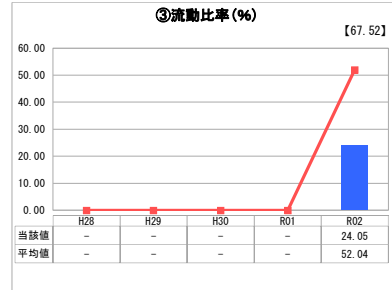
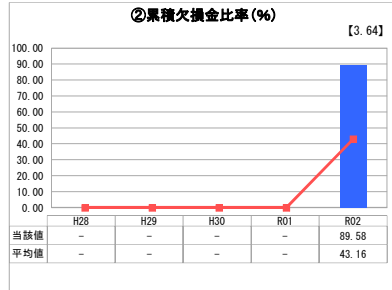
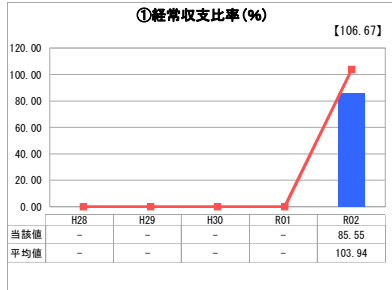
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	39.19	16.12	92.66	3,190

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
61,094	228.21	267.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,811	2.52	3,893.25

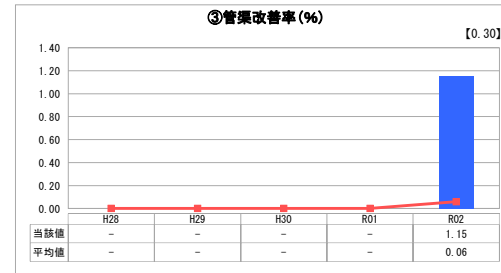
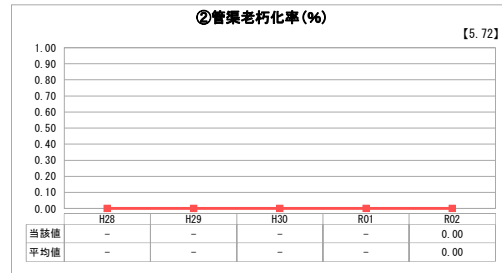
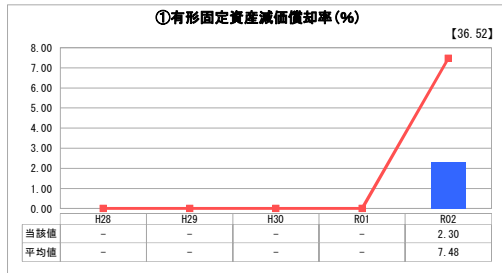
## グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
一般会計からの補助金が基準額を下回っており、低い水準となっている。今後見直しを検討していく。
- ②累積欠損金比率  
一般会計からの補助金が基準額を下回っており、高い水準となっている。今後見直しを検討していく。
- ③流動比率  
全体事業計画の進捗率が低く、企業借入や一般会計からの補助・出資による資金調達に依存しながらの事業運営となっているため、低い水準となっている。
- ④企業債残高対事業規模比率  
全体事業計画が完了するまでの間に生じる資金不足額および企業債残高は、すべて一般会計が負担していくこととなっている。
- ⑤経費回収率  
流域下水道における汚水処理の費用負担単価は、現行の使用料単価で賄えているが、経常的費用等が増加傾向にあり、類似団体より低い水準となっている。
- ⑥汚水処理原価  
全体事業計画の進捗の遅れにより、整備率が低いため、有収水量が少なく、また地理的な要因等により、全国平均より高くなっている。
- ⑧水洗化率  
人口減少及び高齢化等により、接続率が低い水準となっている。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
公共下水道施設全体としては、低い水準となっている。  
平成29年度に公共下水道に取り込んだ特定環境保全公共下水道については、管路施設老朽化が進んでいるため、令和3年度にストックマネジメントによる調査業務を実施し、令和4年度から更生工事に着手していきます。
- ③管渠改善率  
全体事業計画の進捗率が低く、総管渠延長に占める新設(改良)による延長の割合が他団体より高くなっている。

### 全体総括

令和2年度から地方公営企業法を適用し、適用初年度から累積欠損金が生じています。  
現在、当市の下水道事業は、全体事業計画の進捗が遅れ、整備途上にあるため、一般会計からの補助や出資に依存しながら整備事業を推進しています。  
今後は、令和2年度に策定した全体事業計画に基づき、早期に事業の概成を目指し、計画のかつ効果的な整備事業を行い、接続率の向上を図ります。また、全体事業計画の投資計画に沿った、中長期的な経営戦略を策定し、持続可能な事業運営を図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。